

**平成26年度科学技術重要施策アクションプラン
及び対象施策
～地域発のイノベーション創出のための仕組みづくり～**

- ・取組の内容
- ・特定施策一覧
- ・詳細工程表

地域資源を強みとした地域の再生のアクションプランの枠組み (地域発のイノベーション創出のための仕組みづくり)

重点的課題	重点的取組
地域発のイノベーション創出のための仕組みづくり	(4) 生産技術等を活用した産業競争力の涵養
	(5) サービス工学による地域のビジネスの振興
	(6) 地域の産学官が連携した研究開発や地域経済活性化の取組

産業競争力の涵養、地域イノベーションに関連する特定施策

※赤字は今回のレビューの主な対象とする連携施策

重点的取組	施策名	担当府省
(4) 生産技術等 を活用した産業競争 力の涵養	【連携施策】 三次元造形技術の開発	◎経産省、文科省
	革新的製造プロセス技術開発（ミニマルファブ）	経産省
(5) サービス工学 による地域のビジネス の振興	特定施策なし	
(6) 地域の産学 官が連携した研究開 発や地域経済活性 化の取組	【連携施策】 地域の“強み”を活かした地域活性化	◎文科省、農水省、総務省
	持続可能な多世代共創社会のデザイン	文科省

※連携施策の担当府省の◎は、責任府省

平成26年度 アクションプラン
地域発のイノベーション創出のための仕組みづくり
(6) 地域の産学官が連携した研究開発や地域経済活性化の取組

【取組の内容】

この取組では、世界ナンバーワン、オンリーワンの技術を持つ地域の企業の技術や大学・研究機関等の科学的知見・技術・設備を活用し、産学官が連携しながら地域産業の発展を推進する。さらに、大学・研究機関、技術移転機関（TLO）等が有する知的財産を活用し、地域における新産業の創出や地域で有する既存技術を他分野に応用する等、新たな産業化につなげるイノベーションを創出する取組を推進する。

この取組により、地域の強みを活かした活力ある地域経済を実現する。

(6) 地域の産学官が連携した研究開発や地域経済活性化の取組

連携施策群: 地域の“強み”を活かした地域活性化

施策名	施策番号	府省	実施期間	H26年度予算 (概算:百万円)
地域資源等を活用した科学技術イノベーションの実現	地・文08	文科省	H23 ~	26,481の内数
戦略的情報通信研究開発推進事業(競争的資金)	地・総01	総務省	H14 ~	2,384の内数
農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業	地・農06	農水省	H25 ~ H29	5,272

(特定における特記事項)

本連携施策群は、府省連携により、地域の強みを生かした地域活性化の取組を実施するものであり、活力ある地域経済を実現し我が国の産業競争力を強化する上で重要な施策群である。関係府省で合同で「地域イノベーション戦略推進地域」を選定し、選定した地域に対して各省の施策を組みあわせた支援を実施するという府省連携のスキームも明確である。各省の施策の特徴を出しつつ、研究開発のフェーズ等に応じて各省における最適な支援プログラムにつなぎこむ等のフレキシブルな支援を実施するものとして意義がある。

なお、上記の「フレキシブルな支援」に関しては、具体的な支援の仕組みや体制について更に精査した上で、着実に実行されることが望まれる。

本施策群は、以下の施策により構成される。

地域資源等を活用し、近隣地域の大学・公的機関・産業界等が連携・研究開発に取り組む「場」を構築する。(文08)

ICTの利活用による地域貢献や地域社会の活性化を図るため、情報通信分野において、独創性・新規性に富む研究開発を支援する。(総01)

農林水産分野において、現場の課題解決や新たな産業の育成に資する研究開発を支援する。(農06)

単独施策

特定施策名	施策番号	府省	事業期間	H26年度予算 (概算:百万円)
持続可能な多世代共創社会のデザイン	地・文09	文科省	H26 ~ H31	科学技術振興機構運営費交付金2,009の内数

地域の産学官が連携した研究開発や地域経済活性化

地域資源(6)

主な取組	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	中間目標、アウトカム (2020年以降)	
地域の特色に応じた研究開発・実用化の促進	地域の特色に応じた各種支援制度の推進					地域における新産業クラスターの拡大 研究成果の事業化推進
	地域の産学官が連携した研究開発の促進					
		<p>持続可能な多世代共創社会のデザイン 【地・文09】 ・新規研究開発課題の採択 (重点的取組課題の例:『有効活用されてこなかった地域資源の発掘と活用』、『環境に調和しつつ地域の資源・経済を循環』等)</p>	<p>・前年度採択研究開発課題の実施及び相互の連携調整 ・新規研究開発課題の採択(2回目)</p>	<p>・前年度、前々年度採択研究開発課題の実施及び相互の連携調整 ・新規研究開発課題の採択(3回目)</p>		
	企業立地・海外展開・販路開拓・施設整備・研究開発・人材育成確保等					
	<p>地域の“強み”を活かした地域活性化 【地・文08】【地・総01】【地・農06】</p>					
	<p>『地域イノベーション戦略推進地域』を関連省庁で共同選定し、各省の施策を組み合わせた支援を実施する。</p>					
	<p>地域のイノベーションシステムの構築支援</p>					
	【地・文08】	本格運用開始	仕組みの見直し	仕組みの見直し		
	<p>・地域資源等を活用し、近隣地域の大学・公的研究機関・産業界等が連携・研究開発に取り組む「場」を構築する。 ・地域の活力を取り戻すとともに、地域における産業競争力の強化や、地域産業の発展による雇用の創出、地域経済の活性化を実現する。</p>					
	<p>農林水産分野の技術開発支援(提案公募型の競争的資金)</p>					
【地・農06】	<p>シーズ創出ステージ、発展融合ステージ、実用技術開発ステージごとに研究課題を公募し、基礎段階から実用化段階までの研究開発を継ぎ目なく支援する。</p>					
<p>・ に関して、実施テーマの90%について、将来的に活用される優れた研究成果を創出する。 ・ に関して、実施したテーマの90%について、生産現場等で実用化が可能な技術的成果を創出する。</p>						
<p>【地・農06】(2014～)研究区分の新設 (「育種対応型(地域の農産物の「強み」を生み出す品種育成)」)</p>						
<p>情報通信分野の技術開発支援(提案公募型の競争的資金)</p>						
【地・総01】	<p>・情報通信分野において、地域や研究開発実施者に主体性のある先端技術の研究開発を支援する。 ・課題選定の評価基準に、地域固有の課題を解決する視点、地場産業の振興、新規事業の創出等の地域の視点を盛り込む。 ・課題終了後の外部専門家による評価において、当初の見込みどおりかそれを上回る成果があったと判断される課題の割合を80%以上にする。</p>					
若手研究者を企業等に派遣し、人材育成・研究開発を推進する産学連携スキームを構築						
オンリーワンやナンバーワンの技術を活用し地域の特色に応じたクラスターの組成と取組の推進						
地域の産学官が連携した研究開発の促進						
地域の産学官が連携するシステム構築の取組						

平成26年度 アクションプラン
地域発のイノベーション創出のための仕組みづくり
(5) サービス工学による地域のビジネスの振興

【取組の内容】

この取組では、I Tを駆使してサービスの現場のデータを収集・分析し、最適なビジネスモデルを設計して現場に適用する「サービス工学」のノウハウを、様々な地域資源と組み合わせる。

この取組により、高度な I T 技術や生産技術を活用した活力ある地域経済を実現する。

特定施策なし

サービス工学による地域ビジネスの振興

地域資源(5)

